

株式会社UKCホールディングス
2014年(平成26年)3月期決算 補足説明資料

2014年5月9日



株式会社 UKCホールディングス

目次



2014年3月期 決算(連結)概況

事業セグメント	4
2014年3月期 ハイライト	5
2014年3月期 半導体及び電子部品事業	6
2014年3月期 電子機器事業	7
2014年3月期 システム機器事業	8
2014年3月期 財政状態(バランスシート)	9
2014年3月期 財政状態(キャッシュ・フロー)	10

2015年3月期 通期連結業績／配当予想

2015年3月期 通期連結業績予想	12
-------------------	----

(株)デジタルメディアプロフェッショナルとの業務資本提携	13
------------------------------	----





2014年3月期決算(連結)概況

事業セグメント



事業部門(セグメント)		主要製品	主要顧客／市場
半導体及び電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、その他半導体	エレクトロニクスメーカー
	電子部品	液晶パネル、タッチパネル、バッテリー、光学ピックアップ、ACF※、基板、複合部品、その他一般電子部品	
	EMS	電子機器受託製造サービス (Electronic Manufacturing Service)	
	その他	LED照明、太陽光パネル	店舗、工場、オフィス、メガソーラー
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、音響映像関連機器、ビデオプリンター	放送局、プロダクション、一般企業、教育機関、医療機関、半導体製造装置メーカー、システムインテグレータ
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク	
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、セキュリティ関連製品	
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア	
システム機器事業	産業電子機器及び伝送端末機器	非接触ICカード(FeliCa, NFC)R/Wモジュール、電子決済端末、出入管理端末	電子決済市場、デジタルサイネージ市場、PC・タブレットメーカー
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務	半導体・部品メーカー、太陽電池メーカー

※ 異方性導電膜 (Anisotropic Conductive Film):

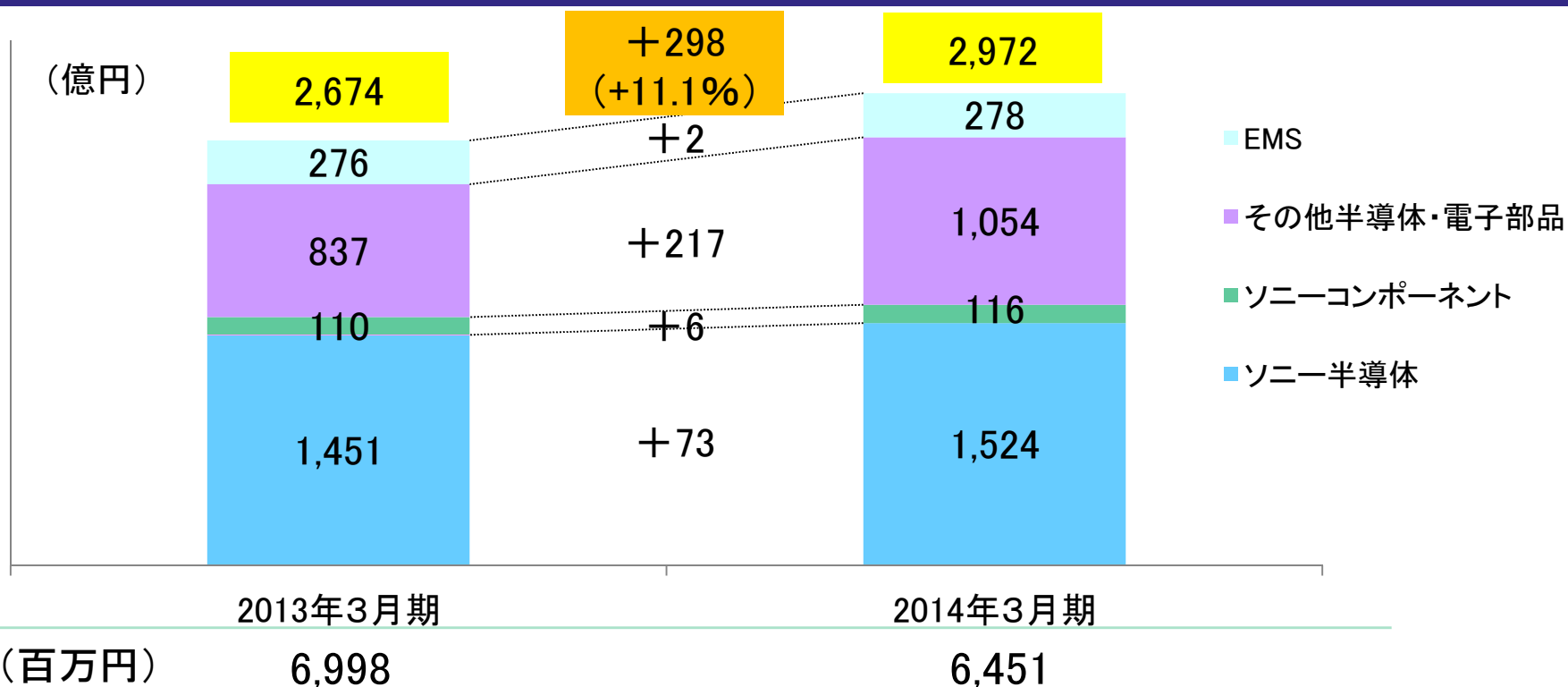
中・小型液晶パネルとフレキシブルプリント基板を接合するフィルム型の実装材料

2014年3月期 ハイライト

(単位:百万円)	2013年3月期実績		2014年3月期予想 (2013/5/10)		2014年3月期実績		前年同期比		予想比	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率	増減金額	増減率
売上高	284,508	100.0%	290,000	100.0%	317,042	100.0%	+32,534	+11.4%	+27,042	+9.3%
売上総利益	17,851	6.3%	18,200	6.3%	19,411	6.1%	+1,560	+8.7%	+1,211	+6.7%
SGA	10,490	3.7%	10,800	3.7%	12,485	3.9%	+1,994	+19.0%	+1,685	+15.6%
営業利益	7,360	2.6%	7,400	2.6%	6,925	2.2%	▲434	▲5.9%	▲474	▲6.4%
経常利益	8,162	2.9%	7,000	2.4%	7,237	2.3%	▲924	▲11.3%	+237	+3.4%
当期純利益	5,025	1.8%	4,500	1.6%	4,398	1.4%	▲627	▲12.5%	▲101	▲2.2%
EPS(円)	320.14		286.65		280.21					

- 売上高:前年比+325億円(+11.4%)
スマートフォン向けイメージセンサー、タッチパネル等の販売増や自社工場におけるEMS事業の増収が貢献
その一方で、デジタルスチルカメラ向けは市場の停滞により減収
- 売上総利益:前年比+15.6億円(+8.7%)
相対的に粗利率の高い国内事業の売上高が減少したため、利益率は減少したものの、増収効果により利益額は前期比増加
- 営業利益:前年比▲4.3億円(▲5.9%)
連結子会社において計上した貸倒引当金(10.9億円)、円安に伴う海外拠点SGA増加等により、営業利益は前期比減
貸倒引当金については、相手先及びその代表者に対する訴訟提起等、売掛金の回収に向けた取り組みを継続
- 経常利益:営業利益減に加えて、為替差益の減少(8.9億円⇒3.7億円)により前期比減
- 当期純利益:前期計上の退職特別加算金の影響(5.0億円)は剥離も、SGA大幅増の影響は吸収できず、前期比減

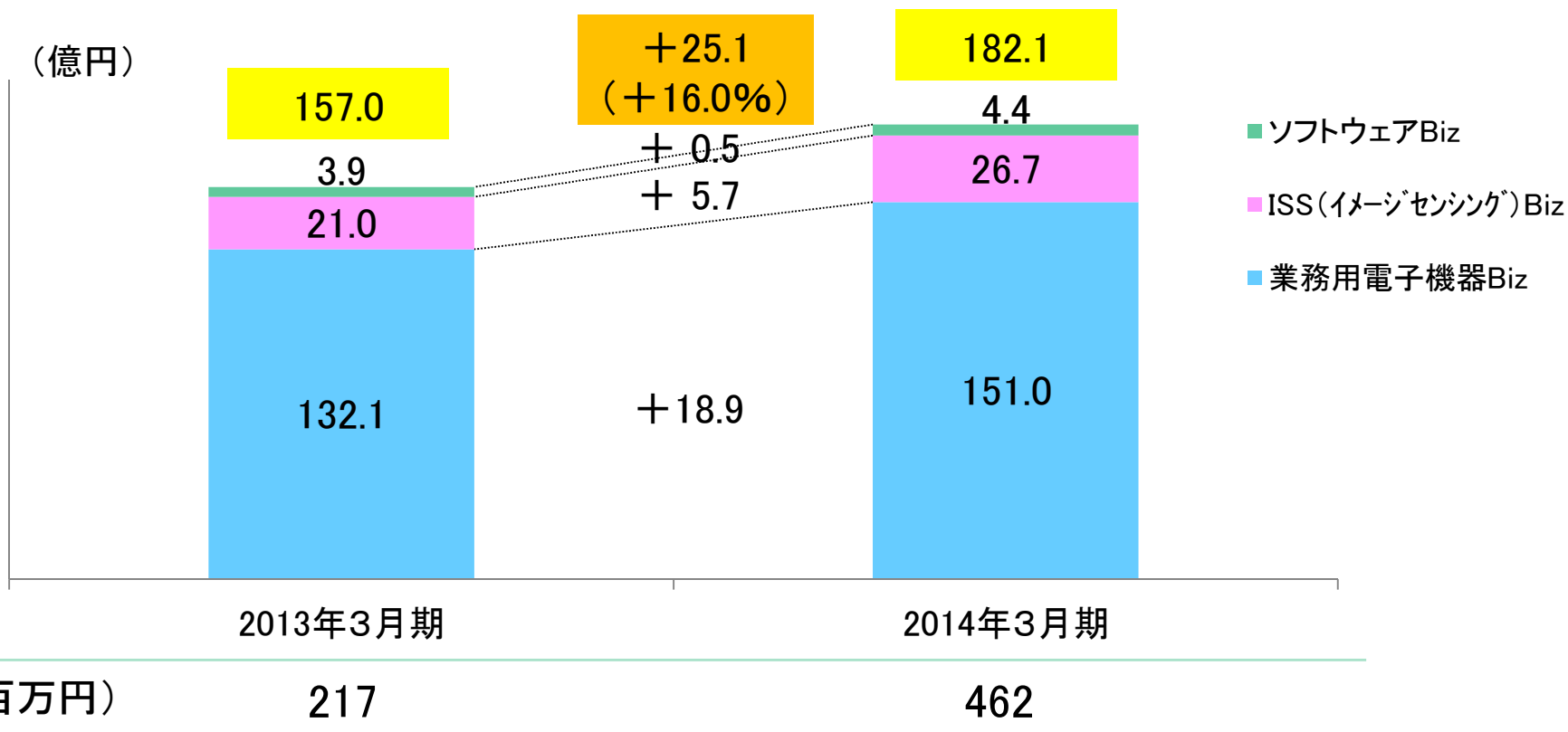
2014年3月期 半導体及び電子部品事業



- ソニー半導体、電子部品
デジタルスチルカメラ向けは低調だったものの、海外スマートフォン向けのイメージセンサーの販売が好調
- その他半導体、電子部品
スマートフォン向けタッチパネル、車載向け等中小型液晶パネルの販売が好調
- EMS: 中国東莞自社工場(液晶モジュール基板実装)は好調に推移も、ファブレス事業不振で前年比微増
- 海外子会社における貸倒引当金の計上(10.9億円)に伴い、セグメント利益は前年同期比減少

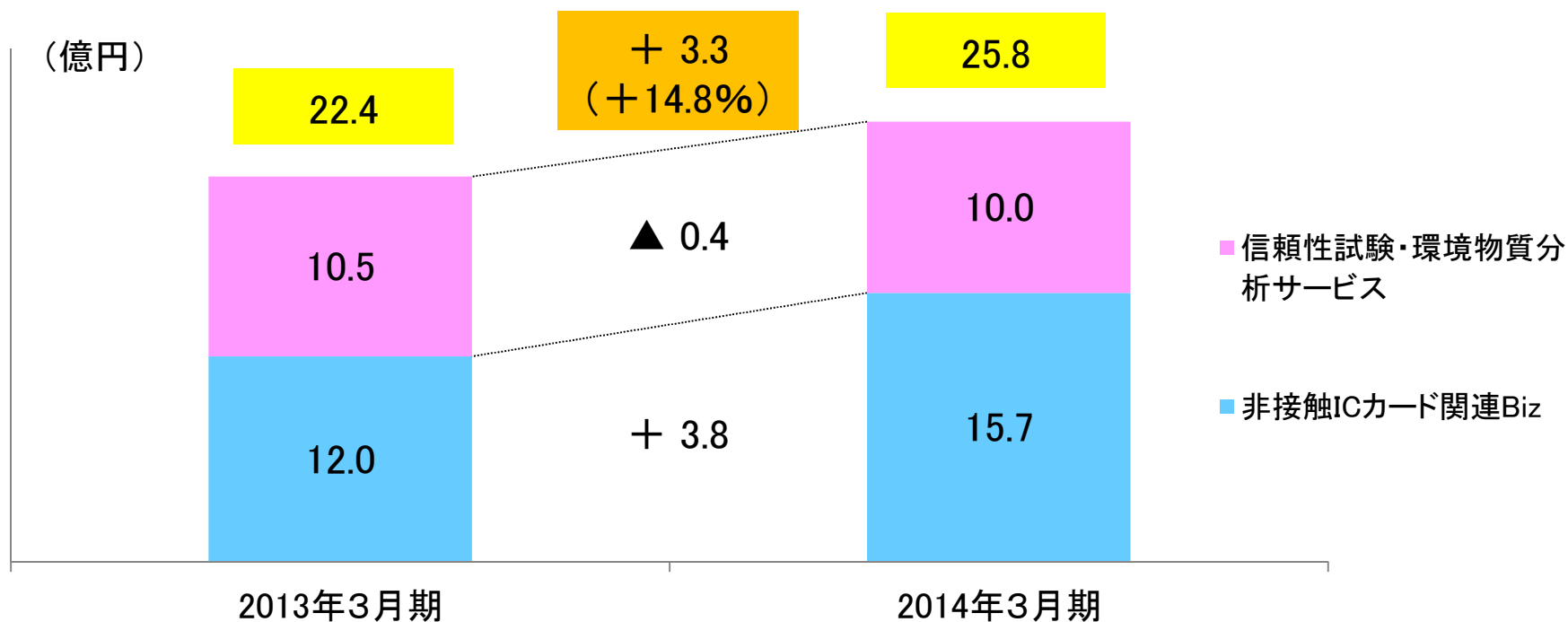
※今期より、「電子機器」として取り扱っていた一部の商品を「半導体及び電子部品」に移管。また、前期まで、配賦不能費用として全社費用に含めていた報告セグメントに直接帰属しない一般管理費を今期より各セグメントへ配賦。この変更を遡及して前期実績にも反映

2014年3月期 電子機器事業



- 景気刺激策の効果等により、年度を通じて顧客の設備投資に改善傾向が見られる
一般企業向け、監視カメラ顧客、教育機関、医療向け等幅広い分野で売上が伸長
- 増収効果によりセグメント利益も大幅増

2014年3月期 システム機器事業



セグメント利益(百万円)

232

191

➤ 非接触ICカード関連ビジネス

電子マネーやデジタルサイネージの社会的な広がりに伴い、店舗端末、自販機向け等が伸長

➤ 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス

顧客の需要停滞に伴い、試験数が減少したことにより停滞

➤ 相対的に高利益率である試験・分析サービスの減収、利益率減等により、セグメント利益は前年同期比減

2014年3月期 財政状態(バランスシート)



(単位:百万円)		13/3月末	14/3月末
流動資産計	現預金	12,601	17,658
	売上債権	65,119	69,633
	棚卸資産	24,091	18,416
	その他	6,536	5,804
流動資産計		108,349	111,512
固定資産計		5,874	6,924
総資産		114,223	118,436
流動負債計	仕入債務	35,371	37,487
	短期借入金 [※]	25,232	18,164
	その他	4,410	5,388
流動負債計		65,014	61,040
固定負債計	長期借入金	2,610	5,893
	その他	1,196	1,076
固定負債計		3,806	6,970
純資産		45,402	50,425
自己資本比率		39.4%	42.2%
BPS(円)		2,869.23	3,186.08

	前期末比	主な増減要因
総資産	+4,213	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金 +5,056百万円 ・売上債権 +4,513百万円 ・棚卸資産 ▲5,674百万円
負債	▲810	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入金 +3,283百万円 ・仕入債務 +2,116百万円 ・短期借入金[※] ▲7,068百万円
純資産	+5,023	<ul style="list-style-type: none"> ・当期純利益 4,398百万円 ・為替換算調整勘定 +1,668百万円 ・利益剰余金からの配当 ▲941百万円
自己資本比率	+2.8%	利益剰余金の増加により39.4%から42.2%に上昇

※ 1年内返済予定の長期借入金を含む



2014年3月期 財政状態(キャッシュ・フロー)

(百万円)	13年3月期	14年3月期	主な増減要因	
営業 CF	▲8,416	11,628	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前当期純利益 7,210百万円 ・たな卸資産の減少 6,768百万円 ・貸倒引当金の増加 1,060百万円 ・減価償却費 607百万円 ・法人税等の支払額 ▲2,868百万円 ・仕入債務の減少 ▲2,780百万円 	
投資 CF	▲1,592	▲1,026	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金(払戻収入ー預入支出) 300百万円 ・投資有価証券の取得 ▲708百万円 ・有形固定資産の取得 ▲450百万円 	
財務 CF	2,958	▲7,245	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入金の増加 526百万円 ・短期借入金の減少 ▲6,695百万円 ・配当金の支払額 ▲941百万円 	
現金及び 現金同等物	10,561	15,829		



2015年3月期 通期連結業績／配当予想

2015年3月期 通期連結業績予想

(単位:百万円)	2014年3月期 (実績)		2015年3月期 (予想)		前年同期比	
	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率
売上高	317,042	100.0%	300,000	100.0%	▲17,042	▲5.4%
売上総利益	19,411	6.1%	18,400	6.1%	▲1,011	▲5.2%
SGA	12,485	3.9%	11,200	3.7%	▲1,285	▲10.3%
営業利益	6,925	2.2%	7,200	2.4%	+274	+4.0%
経常利益	7,237	2.3%	6,900	2.3%	▲337	▲4.7%
当期純利益	4,398	1.4%	4,400	1.5%	+1	+0.0%
EPS(円)	280.21		280.28			

- 為替レート前提: 1USD=100円
- 売上高: 前年比▲170億円(▲5.4%)
 自社EMS、中小型液晶、電子機器の事業環境は好調を継続
 スマートフォン市場の競争激化、流動性を考慮
- 営業利益: 前年比+2.7億円(+4.0%)
 海外貸倒引当金の影響の剥離に伴うSGA減少により前年比増(現時点で売上債権回収は織り込まず)
- 為替差損益を織り込まず
- 配当金予想: 1株当たり40円(中間配当金20円、期末配当金20円)

(株)デジタルメディアプロフェッショナルとの業務資本提携

(株)デジタルメディアプロフェッショナル(DMP社)と業務資本提携契約を締結(2014年5月9日)

DMP社: 2002年創業、2011年東証マザーズ上場

GPU(グラフィックス・プロセッシング・ユニット)のIPベンダー



グラフィックス技術

×



- ・当社事業領域を従来の物販からソリューション志向に進化
- ・自動車、医療等の成長市場の深耕



映像関連事業基盤

業務提携

- ・マシンビジョン・ソリューション共同開発
- ・IP/LSI販売
- ・事業展開に資する経営資源の相互活用
その他

資本提携

DMP社が第三者割当増資により処分する自己株式200,000株及び新たに発行する株式200,000株、合わせて400,000株の普通株式の全てを引受(払込金額: 234百万円)、当社はDMP社の筆頭株主になる予定(持株比率15.3%)



株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to: ir@ukcgroup.com

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。